

観光社会資本の事例

テーマ	「国際子ども図書館」明治の煉瓦造建築物の保存活用	
【施設の状況写真】		
		<p>東洋一の図書館を目指し明治 39 年に1期工事が完成。その後2期工事で増築が行われましたが、全体計画の約 1 / 3の規模に留まったままとなりました。</p>
		<p>平成 14 年国際子ども図書館として保存活用を行い、新たな機能を付加して生まれ変わりました。</p>
【施設の利用写真】		
	<p>旧貴賓室は世界を知る部屋として再生、美しく描かれた天井漆喰や、復元した寄せ木床などを身近に感じることができます。</p>	
		<p>旧普通閲覧室は本のミュージアムとして再生、円筒形の展示家具に空調機を組込み、壁天井の装飾を損なうことなく創建当時の姿を今日に伝えています。</p>
【観光資源としての利用状況】		
<p>ルネッサンス様式を取り入れた代表的な明治期洋風建築であり、その外観は平成 11 年に東京都選定歴史的建造物に指定されています。</p> <p>我が国有数の文化エリアである上野の杜にあって、旧帝国図書館(後年、国立国会図書館)として日本の近代化の一翼を担っていた当館は、国際子ども図書館として新たな機能を付加し保存活用することにより、歴史的継承と新たな国立図書館サービスを提供しています。</p> <p>明治建築にふれあうことができることから、図書館機能である展示・閲覧・研究・情報発信以外に歴史的文化施設の見学を目的に来館する人も多く、建物の見学ツアーを実施しています。(見学ツアーには事前予約が必要です。詳細は国際子ども図書館ホームページのご利用案内をご覧ください。)</p>		

テーマ	「国際子ども図書館」明治の煉瓦造建築物の保存活用
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国立国会図書館国際子ども図書館</p> <p>所在地 東京都台東区上野公園12 - 49</p> <p>事業名 図書館整備事業</p> <p>事業主体 国</p> <p>事業期間 明治39年(一期工事完成)、平成14年(保存活用整備)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>日本の近代文化を支えて来た歴史的に由緒の深い地域である上野の杜の一角にある旧帝国図書館は、ルネッサンス調の格式ある意匠をそのままに、免震レトロフィットを用いて構造安全性を確保し、保存部への影響を最小に押さえて情報・空調・防災系機能を付加、新しい機能と空間を創り出し復元と更新を行うことにより、利用者に快適で安全な環境と情報化に即した最新の機能を備えた国際子ども図書館として生まれ変わりました。</p> <p>安藤忠雄建築研究所 + 日建設計の設計で、国土交通省関東地方整備局営繕部によって行われた保存活用事業により、平成14年の全面開館以来子ども図書館としての利用だけでなく、明治期の貴重な煉瓦造建築物を保存活用した建物として、見学を目的とした多くの来館者を迎えています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 国立国会図書館国際こども図書館 http://www.kodomo.go.jp/</p>	